



## 目次

- |   |     |                  |   |
|---|-----|------------------|---|
| ● 年頭所感 .....                            | 2   | ● 話題の広場 .....    | 7 |
| ● ism-Linkにおける在宅医療の情報連携 .....           | 3   | クリスマスコンサートを行いました |   |
| ● ねっとわーく .....                          | 4~5 | ● 情報カプセル .....   | 7 |
| 矢高眼科医院                                  |     | エピペンをご存知ですか？     |   |
| 源田内科医院                                  |     | ● お知らせ .....     | 8 |
| ● 糖尿病予防の啓発を行いました .....                  | 4~5 | 面会制限を実施しています     |   |
| ● 飯伊地区における医科歯科連携<br>を考える講演会を行いました ..... | 6   | ● 職場紹介 .....     | 8 |
|   |     | ゆうゆうその④ 2階Bチーム   |   |

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

### 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

# 年頭所感



飯田市立病院 院長  
金子源吾

新年明けましておめでとうございます。2016年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の明るい話題として印象に残っているのはイングランドで開催されたラグビーのワールドカップでの日本代表チームの大活躍です。五郎丸ポーズが脚光を浴びたことは記憶に新しいところです。

また、自然科学の分野では日本人が2年連続してノーベル賞に選ばれました。イベルメクチンの開発で、大村智北里大学特別荣誉教授がノーベル生理学・医学賞を、ニュートリノに質量があることを証明した梶田隆章東京大学宇宙線研究所所長がノーベル物理学賞をそれぞれ受賞しました。やはり、日本人が国際的に活躍すると爽やかな気分になり、元気をもらったような気がします。

さて、現在、医療をとりまく環境変化は大きなものがあります。国全体で「社会保障と税の一体改革」が進められ、高齢化により増大する医療費を抑制し、持続可能なものとするための改革が進められています。

まず、昨年度、病床機能報告制度がはじまり、各病院が県に自院の病床機能を毎年報告しています。病床機能は、高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4区分ですが、当院は、現在の機能は高度急性期及び急性期として報告しています。

また、県で地域医療構想の策定が行われており、2次医療圏ごとに2025年に必要な病床数が4つの医療区分ごとに定められます。その構想の中では、「地域包括ケアシステムの構築」を通じて、一定数の慢性期の患者さんを在宅や介護施設等へ移していくことで医療費の抑制を図ることが想定されています。

飯田下伊那の2次医療圏にあっては、飯伊地区包括医療協議会を中心に医療関係者や行政が集まり、当地域の医療を守る取組みを行ってきました。

当院も地域内の役割分担、医療連携の中で、救急医療や周産期医療などの充実に努めてきました。当地域においては、その大きな枠組みは今後とも変わることはないと考えています。

また、当院は地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院にも指定されており、今後とも、地域内の病院や診療所との連携をより一層深め、高度な医療機器の共同利用や当地域の医療の質向上に向けて取組んでいきたいと考えております。

今年の具体的な取組みとしては、日本人の死因の上位である、消化器がん、心疾患、肺炎などの呼吸器疾患に対して、より専門的に、部門横断的に診療出来るよう、診療部門のセンター化を具体化していきたいと考えています。

また、入院前の治療説明、退院後の生活支援までをワンストップで行う患者サポートセンターの設置に向けて検討を進め、各部門の機能を強化して患者サービスの向上に努めていきたいと考えています。

施設整備面では、第3次整備が完了したところですが、がんの放射線治療装置（リニアック）の更新時期を迎えており、本年からリニアック棟の建設工事に着手します。高額な機器ではありますが、高精度な治療ができる最新の機器を導入し、がん診療の充実に図りたいと考えております。また、CT装置についても、最新式の機種に更新し、検査精度の向上や、現在、検査予約にお時間をいただくことがあるようですので、その解消を図っていきたいと考えております。

今年4月に診療報酬改定が行われます。技術料本体は0.49%のアップですが薬価・医療材料はマイナス1.52%で、実質1.03%のマイナスになるようです。医療費の抑制は国全体の大きな課題であり、今後ますます厳しくなることが予想されています。

このように厳しい環境ではありますが、当院が地域の中核病院として求められる役割を果たしていくことが重要と考えております。今後とも皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

2016年が皆様にとりまして、希望に満ちた、素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

# ism-Link(イズムリンク)における在宅医療の情報連携

飯田市立病院は、「地域医療支援病院」、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、治療後の患者さんをスムーズに在宅医へ受け渡し、その後の在宅医及び患者さんやご家族への支援が必要とされる場合が増えてきました。入院早期から患者さんの希望をお聞きし退院後の地域連携による在宅医療に向けた取り組みを行っています。患者さんの痛みのコントロールなど、在宅へ移行した後も飯田市立病院の後方支援を必要とする場合があります。患者さんやご家族が安心して在宅医療に取り組めるようサポートを行っています。



イズムリンク画面



訪問看護での利用

こうした中、在宅医療の現場でism-Link(イズムリンク)を活用した情報連携がはじまっています。在宅医と訪問看護ステーション等との情報共有、連絡手段としてイズムリンクを使うことで効率的に情報共有が出来ます。今後、在宅患者の増加が見込まれていることから、イズムリンクの活用が今後更に増えていくと考えられます。

一つの例として、当院の緩和ケア内科では、在宅医との連携のためにモバイル端末でイズムリンクを活用し、在宅医療現場との連携体制の強化を図っています。

現在、飯伊地区全ての訪問看護ステーションにイズムリンクをインストールしたモバイル端末を導入し、業務の効率化と在宅医療の連携強化を図る取り組みを始めています。

24時間対応が必要な在宅での終末期ケアでは必要なツールになると考えています。導入により、患者さんやご家族の希望に沿った形で安心して在宅療養が出来る地域となることを目指しています。

今後もイズムリンクの活用により、病院、診療所、訪問看護、薬局、ケアマネジャーなどの多職種連携や、患者さんと家族の思いに寄り添ったケアにつながるよう、一層取り組みを強化していきます。





## 矢高眼科医院

(飯田市馬場町)



### 丘の上の隠れ家的眼科

矢高眼科医院 院長 矢高 真人

私が平成20年に東京の病院勤務を終えて30年ぶりに帰郷した時、何より驚いたのが飯田の旧市街(丘の上)の「ドーナツ化」でした。周辺の地域は大いに開発が進み市民が暮らせるエリアが拡大した反面、丘の上は人口が減少して街は閑散としていました。このため当院を新築するにあたり他の地域への移転も検討しましたが、明治25年以来この場所で眼科を営んできた当院は、「これからもここに存在し続けるべきだろう」との思いから敢えて移転はしませんでした。

かつては飯田駅から下る中央通りと伝馬町～銀座通りの交差

点(スクランブル交差点)からほど近い当院は地域のメインストリートからのアクセスの良い立地と言えました。しかしメインストリートが「丘の上」を通らない周辺道路に移った今こそ発想を転換して、これからの当院は「丘の上の隠れ家的眼科」として地道に地域の皆様の眼の健康管理のお手伝いを続けていきたいと考えています。特に大切なのが患者さんとの対話です。診療は眼科全般ですが、日帰り手術が困難な白内障や高度な検査・治療が必要な患者さんは、

飯田市立病院眼科と密に連携を取って対応しています。お気軽にご相談下さい。



矢高先生

所在地	〒395-0027 飯田市馬場町2丁目367 ☎0265-22-0068
診療科目	眼科
診療時間	9:00～12:00 / 15:00～18:00 (土曜日9:00～13:00、木曜日午前は手術主体、 コンタクトレンズ検査のみ要予約)
休診日	木曜日午後 土曜日午後 日曜日・祝日
駐車場	あり



## 糖尿病予防の啓発を行いました

当院含め飯伊地域の8医療機関で構成する飯伊糖尿病連絡会は飯田下伊那臨床検査技師会の協力を得て、本年も11月23日に開催された「勤労者まつり」に参加し、糖尿病予防啓発を行いました。

飯田勤労者福祉センター音楽室に設けられたブースでは、血圧・血糖が無料で測定できる他、フットケアや糖尿病専門医の相談が受けられますが、目玉はここ3年続けているSAT(食育)システムです。

美味しそうな食品サンプルから主食、主菜、副菜などを選択し、機械に載せると、カロリーや栄養素がパソコン上にサッと表示され、食事に対する評価が印刷されて出てきます。普段の食生活に対する評価が目でハッキリ判り、ゲーム感覚で楽しめるので子供さんにも好評でした。

## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## 源田内科医院

(飯田市宮の前)



源田内科医院 院長 源田 朋夫

こんにちは。飯田市丘の上、大宮神社の近くにある源田内科医院です。

この紙面をお借りして、従業員の紹介と、日頃心がけていることをお伝えしたいと思います。

まず看護師の“小さいけど力持ち”福澤智子と“焼き芋大好き”古田香織より。「往診では、患者さんにご家族が安心して在宅療養ができるよう、関わる方々との連携を密にとることを心がけています。外来では、常に患者さんに寄り添った看護が提供できるよう、笑顔をもっとに頑張っています。」

次に事務員の“アイドル大好

き”清水和代と“ハンドケアセラピスト”近藤摩紀より。「初めて来院される方から長年通院されている方まで、全ての患者さんが安心できるよう、笑顔で親切・丁寧な対応とコミュニケーションを大切にすることを心がけています。」

最後に院長の“ゴルフがうまくなりたい”源田朋夫より。「昭和36年、飯田生まれです。11年間、飯田市立病院・循環器内科に勤務した後、医院を継承しました。まず、患者さんの訴えをしっかりと聞き、丁寧に診察すると

いう基本を忘れないよう心がけています。」

診療所ならではの安心や満足を提供できるよう、職員一同で取り組んでいますので、よろしくをお願いします。



源田先生(前列中央)とスタッフの皆様

**所在地** 〒395-0082 飯田市宮の前4423-8

**TEL** 0265-24-1550

**診療科目** 内科、循環器内科

**診療時間** 8:30~12:00 / 14:00~18:00

**休診日** 木曜日午後 土曜日午後 日曜日・祝日

**往診** あり

**駐車場** あり



### 飯伊糖尿病連絡会

飯田病院・輝山会記念病院  
下伊那厚生病院・健和会病院  
県立阿南病院・下伊那赤十字病院  
まるやまファミリークリニック  
飯田市立病院



僕は何を食べようかな？SATシステム



糖尿病専門医による相談  
奥は管理栄養士による栄養相談

# 飯伊地区における医科歯科連携を考える

平成27年11月21日(土) 午後1時30分 飯田市立病院 講義室

地域がん診療連携拠点病院事業として「飯伊地区における医科歯科連携を考える」講演会並びにシンポジウムが行われました。当日は、医師、歯科医師、看護師など50名の参加がありました。

## 第一部「講演会」

総司会 大鹿和完先生（飯田下伊那歯科医師会長）

深井歯科医院院長・深井保健科学研究所所長・日本歯科医師会常務理事の深井穫博先生より「医科歯科連携の意義について」と題してご講演をいただきました。

歯・口腔の健康は、栄養・食生活・身体活動・運動・休養・飲酒・喫煙に並ぶ健康増進を形成する基本要素になること、歯科医療・口腔保健と健康寿命との関連、高血圧と歯周病の関連についてや、より質の高いがん治療に歯科医療・口腔ケアが寄与することについてお話いただきました。



深井穫博先生

## 第二部「シンポジウム」

座長 佐々木康綱先生（昭和大学医学部腫瘍内科学部門教授）

大鹿和完先生（飯田下伊那歯科医師会長）が、飯伊地区の医科歯科連携の現状を報告した後、シンポジストの4名の先生より、それぞれの立場から報告がありました。その後、先生方を中心に会場内での意見交換となりました。

「がん治療中の患者さんが、医師から歯科治療を勧められ来院されたが、今までは患者さんの依頼されたとおりの治療をするだけでした。今後は、医科の医師との連携の必要性を強く感じましたので、取組んでいきたい。」という歯科医師からの意見もありました。

今後は、飯田下伊那歯科医師会と協力しながら、医科歯科連携が進むよう努めて参りたいと思っています。引き続きご理解・ご協力をお願いします。

がんの治療に入る前に、口腔ケア（お口の中をきれいにし、細菌をできるだけ減らしておく）を行うことで、がん治療中の口腔内合併症を予防・軽減し、治療後もがん患者さんが、口から自然な形でおいしく食事をとることで早期に回復することが示されています。そのために医科歯科連携を進めようとしています。普段からかかりつけの歯科医師を持ち、定期的な受診をすることが重要であり、その歯科医師とがん治療医師の情報共有、円滑な連携が必要となっています。

がん治療前から「がんを治療する病院」と「地域の歯科医療機関」が連携してがん患者の口腔トラブルの予防と軽減を図ることにより、がん治療の成績の向上につなげたいと考えます。

12月21日 夜7時、クリスマスコンサートの音色が響きました。

恒例のクリスマスコンサート、今年は飯田交響楽団のメンバー5人によるフルート、クラリネット、ホルン、バイオリン、チェロの素敵な演奏がありました。

聞きなれたクリスマス曲から始まり、クラシック曲や水戸黄門のテーマ曲など幅広いジャンルの曲の演奏を聞き、「幸せなら手をたたこう」では来場されたみなさんがスタッフといっしょに歌いながら体を動かしました。最後は、「きよしこの夜」の演奏で心が温まるコンサートを終了しました。

市立病院では、病棟デイルームなどでミニコンサートをしてくださる方を募集しています。今までに、ハーモニカ、ピアノ、ハンドベル、フラダンス、合唱など様々なミニコンサートを行っています。興味のある方は庶務課へお問い合わせください。



## エピペンをご存知ですか？

平成24年12月20日、小学5年生の女の子が、給食でチーズ入りのチヂミを食べた後、アナフィラキシーショックを起こして死亡しました。乳アレルギーがあり、エピペンの処方はされていましたが、担任、養護教諭がエピペンを打たず初期対応を誤ったことが死亡に至った原因の一つとされています。

アナフィラキシーは短時間に全身に現れる激しいアレルギー反応で、食物、ハチ、薬物が主な原因です。血圧低下、呼吸困難、意識障害といった生命に危険な症状（ショック）を起こすことがあります。

エピペンはアナフィラキシーの補助治療薬で、血圧を上昇させ、呼吸を楽にする働きがあります。エピペンはいつでも使えるように携帯し、自分が打てない時に周りの人が打てるようにしておくことも大切です。エピペンを注射しても必ず医療機関を受診しましょう。

アレルギーをお持ちでエピペンを携帯されていない方は、近くの医療機関にご相談下さい。



# 飯田市立病院から面会についてのお願い

平成28年1月4日～3月31日は面会制限期間となります。

インフルエンザ及び感染性胃腸炎の院内感染防止のため、  
**面会のご家族に限らせていただきます。**

飯田・下伊那地域感染防止対策連携医療機関で統一の対応となります。

## 市立病院でのご家族面会時の注意事項

- 面会時間を厳守してください（一般病棟の面会時間 午後1時～8時）
- 病室での3人以上での面会やお子さんを連れての面会のご遠慮ください（各階のデイルームをご利用ください）
- 各病棟スタッフステーションで面会申込書の記入、面会証の着用をしてください
- 感染防止のためマスクの着用と備え付けの手指消毒薬で手洗いを必ず行ってください
- 1週間以内に自身または家族に次の症状があった方の面会はお断りします



**37℃以上の発熱 吐き気・嘔吐 下痢 せき・のどの痛み 目が赤い 発疹**

【問い合わせ】 飯田市立病院庶務課 ☎0265-21-1255 内線2333

## シリーズ ● 職場紹介 ● その47

### 【ゆうゆう④2階Bチームの紹介】

ゆうゆう2階Bチームは、26名の利用者様（4人部屋5室・個室6室）を3、4丁目に分け、12名のスタッフで、日々支援しています。

今年度のチーム目標は、「利用者個々が希望する余暇活動を知り、個々に合ったレクリエーションを提供することで、気分転換が出来る」ことで、チームで協力・工夫しあいながら、日々の生活が少しでも充実していくように励んでいます。活動していく中で、裁縫が得意な方達には雑巾を縫って頂いたり、塗り絵を上手に行う方、計算問題や間違い探しに興味

を持たれる方等、活動を楽しみにして下さっています。

これからもチーム一丸となって、利用者の笑顔・やる気を引き出せるように、活動していきたいと考えています。



## あ と が き

この時期は、インフルエンザやノロウイルスなどが流行します。寒さより、空気の乾燥が要因と知ったのは病院勤務になったからです。以前正月明けに、マイコプラズマ肺炎を体験し、本当に辛かった記憶もあります。胸が痛い・苦しいと感じたのは、あの時だけです。「手洗い」「マスク」「うがい」を実行し、この「流行」にはのらないようにしたいと思います。

今年が皆さまにとっても、日本にとっても、平和で穏やかな1年になるように願っています。

編集委員 窪田みな子